

## 四高展ポスターこぼれ話

今回の記念展示は距離の離れた2会場で開催するというこれまで経験したことのない大きな企画で、9月末ともなると、ワーキンググループのメンバーは、それぞれ割当てられた作業に追われていました。その数日前には、中央図書館の職員総動員で四高同窓生約2,000名をはじめ、近隣の図書館や公民館にポスターやチラシの配布を終えてはいましたが、準備の遅れはどうしようもなくメンバーの間には不安が広がっていました。この記念事業のポスターとチラシは『写真集旧制四高青春譜』(第四高等学校同窓会、1986)中の「ポートレースの応援団」から採った、四高生たちが何かを叫びながら街中を闊歩している写真をデザインしたもので、図書館内にはこの大きなポスターがあちこちに貼ってありました。このポスターを見て「この町並みはどこ?」「この人たちは何を叫んでいるの?」というような疑問の声も聞かれていたちょうどその頃、横浜にお住まいの向井覺様から資料館に届いた手紙はまさに「天からの贈り物」でした。【チラシの写真を拝見し、懐かしさのあまり、ひとこと蛇足をもうしあげます】から始まるその手紙には、写真に写っている向井様ほか7名の方のお名前と、この写真が写された状況の説明がありました。

【昭和14年5月28日に行われた文理科対抗ポートレースの日、理科甲類3組が絶対優勝するぞと応援団を結成、全員羽織袴で統一し、扇子や応援旗を持って大野川に駆け付けたのですが、試合は緒戦で簡単に敗れ

てしまった。金沢駅前でのまま解散するわけにはいかんぞということで、校門まで寮歌を高唱しながら、街頭ストームだと衆議一決、校門まで無我夢中で行進した】。

場所は安江町。疑問は一気に解けたと同時に、こんなに懐かしく思ってくださる方がいるのだと、メンバー同あらたな元気をもらい、無事開催にこぎ着けたのでした。

ちなみに、この8名の方々は、東大や京大などを卒業後、各界で活躍されています。



吾永久に緑なる

(写真は向井覺様からお送りいただきました)

四高展 WG 野村 洋子